

美術講座プレミアム 2025

講師×講演テーマ

第1回 10月2日(木)

アイヌ文化

宮地 鼓

(国立アイヌ民族博物館展示企画室 室長補佐)

アイヌの装いにみる文化交流

アイヌの衣服には、身近な素材に加え、大陸や本州との交易によってもたらされた多彩な糸や布が用いられています。そうした服飾品に施された独自の文様や素材に注目し、周辺地域との文化的なつながりについてお話いただきます。

第2回 10月9日(木)

地域と芸術祭

中谷麻美

(洞爺湖町教育委員会社会教育課 洞爺湖芸術館 係長)

手のひらの宇宙

—洞爺湖国際彫刻ビエンナーレの軌跡—

小さな村が世界に向けて発信した国際彫刻展。その戦略と、村民・作家・審査員が織りなすドラマは地域に何をもたらしたのか、作品介绍を交えつつお話いただきます。

第3回 10月16日(木)

日本画(北海道)

大石朋生

(北海道教育大学旭川校芸術・保健体育専攻美術分野 教授 / 日本画家)

北の大地に描くこころ —北海道ゆかりの日本画家たちと現代日本画の魅力—

院展を中心とした日本画家の制作について、また北海道から生まれる日本画について、そしてご自身を含む画家の制作のプロセスに触れながら、日本画の魅力をたっぷりとお話いただきます。

第4回 10月23日(木)

北海道の美術

岡部 卓

(木田金次郎美術館 館長)

木田金次郎のストーリーを紡ぐ

個人美術館にあって、作家像をどうとらえていくか。活動のなかで新たに明らかになった人物交流のことを交え、木田金次郎の生涯と作品、美術館の30年にわたる活動や近年得た知見についてお話いただきます。

第5回 10月30日(木)

西洋美術

佐藤幸宏

(札幌芸術の森美術館 館長)

ファン・ゴッホ展の舞台裏

～展覧会コンセプトと調査研究を中心に

道立近代美術館で2002年と2017年、2度のゴッホ展を企画・担当した佐藤館長。研究活動の意義、展覧会を立ち上げるまでのプロセスについて、あわせて海外美術館の展覧会開催におけるコンセプトの重要性についてもお話いただきます。

* 講座日程・内容が、都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。